****

★☆★☆★　メルマガ 素形材（第４６９号）★☆★☆★　　【発行日：2026年10月9日】

****

◆◇　本号の目次　◇◆

Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】

Ａ−1．素形材技術研修講座「鋳鋼の生産技術」のご案内
Ａ−2．素形材技術研修講座「鋳型の生産技術」締切迫る！！
Ａ−3．素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内
Ａ−4．素形材技術セミナー「鋳鉄品の鋳造欠陥現象の原因追求とその対策」のご案内

Ｂ．素形材センター出版物情報【●☆●●】

Ｂ−1．月刊誌「素形材」令和8年9月号（Vol.67,No.9）
Ｂ−2．月刊誌「素形材」令和9年(2027年)1月号 掲載原稿募集のご案内

Ｃ．素形材業界関連−募集・トピックス−【●●☆●】

Ｃ−1．第275回塑性加工技術セミナー　New★
「金属積層造形プロセスのシミュレーションおよび最適化」
【一般社団法人日本塑性加工学会】
Ｃ−2．オンライン教育講座『構造材料の観察・分析技術（１）：バルク組成分析』　New★
【公益社団法人日本金属学会】
Ｃ−3．第105回塑性加工技術フォーラム　New★
「精密プレス加工の最新動向とこれから目指すべき方向性」
【一般社団法人日本塑性加工学会】【諏訪圏工業メッセ2026実行委員会】
Ｃ−4．第454回講習会　New★
「モニタリングの基礎講座−加工プロセスのモデル化からデータサイエンスの活用まで」
【公益社団法人精密工学会】
Ｃ−5．2026年度　日本工業炉協会“いい炉の日”記念講演会のご案内　New★
「エネルギー多様化と資源循環社会における工業炉の進化」
【一般社団法人日本工業炉協会】
Ｃ−6．第21回エレクトロヒートシンポジウム〈Web開催〉
「GX時代の産業競争力を支えるエレクトロヒート」
【一般社団法人日本エレクトロヒートセンター】
Ｃ−7．令和8年度第1回技術講演「マグネシウムの航空宇宙分野への応用と展望」
【一般社団法人日本マグネシウム協会】
Ｃ−8．第196回塑性加工学講座＜Web開催＞「板材成形の基礎と実践 〜基礎編〜」
【一般社団法人日本塑性加工学会】
Ｃ−9．2026年度ものづくり中小企業のための支援策勉強会＜パート１＞
【一般財団法人大阪科学技術センター】【独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部】
Ｃ−10．2026年度粉末冶金講座のご案内　【一般社団法人粉体粉末冶金協会】

Ｄ．素形材産業政策関連−トピックス・募集等−【●●●☆】

Ｄ−1．統計　【経産省】New★

Ｄ-2.「技術革新と人類社会の未来 中間報告書―価値主導型イノベーション・ガバナンスに向けて―」を公表しました　【経産省】New★

Ｄ-3. 国内最大級のオープンデータプラットフォームである地域経済分析システム（RESAS）をアップデートしました　【経産省】New★

※※

Ａ. 素形材センター事業トピックス【☆●●●】

∞∞

Ａ-1. 素形材技術研修講座「鋳鋼の生産技術」のご案内

鋳鋼に関する基礎から応用として、鋳鋼の溶解の精錬技術、鋳造のための鋳型技術や鋳造方案および鋳造欠陥対策そして炭素鋼鋳鋼、低合金鋼鋳鋼、耐食鋼鋳鋼、耐摩耗鋼鋳鋼の材質特性、製造技術及び製品用途、また鋳鋼品製造における AI や IoT と言ったデジタル技術の活用に至る幅広い内容を網羅しています。受講者としては、現場経験 3～5 年程度の方、現場経験は長いけれども、改めて理論的知識を習得したい方などを対象としています。多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

■日時　11 月 11 日(水)、18 日(水)、25 日(水) 、12 月 2 日(水)
■プログラム　コーディネーター　元㈱アイメタルテクノロジー　山田　聡　氏

11 月 11 日(水)　オンライン研修講座

炭素鋼鋳鋼の材質特性、鋳鋼の溶解及び精錬技術	(株)I2C 技研　糸藤春喜　氏
低合金鋼鋳鋼・ステンレス鋼鋳鋼の材質特性、製造技術及び製品用途	(株)西島製作所　山田恒二　氏

11 月 18 日(水)　オンライン研修講座

耐摩耗鋼鋳鋼の材質特性、製造技術及び製品用途	秋田大学　麻生節夫　氏
耐熱鋼鋳鋼の材質特性、製造技術及び製品用途	(株)クボタ　富田雅之　氏
鋳造品の品質管理について	元㈱アイメタルテクノロジー　山田　聡　氏

11 月 25 日(水)　オンライン研修講座

鋳鋼品の鋳造方案の基礎と鋳型概論	元(株)神戸製鋼所　久保晴義　氏
鋳鋼品の鋳造方案演習	(株)川口金属工業　松浦雅博　氏
鋳鋼品製造におけるデジタル技術の活用	Casting Service 菅野利猛　氏

12 月 2 日(水)　午後　工場見学　昭和電気鋳鋼(株)

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/3372/202607310937343221.pdf

■センターの技術研修のスケジュールは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/27/

【問合せ先】 一般財団法人 素形材センター 企画部　e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

∞∞

Ａ-2. 素形材技術研修講座「鋳型の生産技術」締切迫る！！

　鋳型は、鋳物の形状を形づくり、品質をも左右する重要なアイテムであり、その製造工法は大きく生型及び特殊鋳型に分類され、使用される材料や造型法が異なります。使われる砂や粘結剤などの材料の物性や特徴さらに工法の異なる造型技術の特徴を学ぶことにより、良い鋳物を作るための良い鋳型づくりのポイントを習得して頂きます。また、鋳型製作に欠かせない模型設計の基礎的概念を学び、鋳物品質を左右する技術を理解して頂くとともに、鋳物工場の抱える環境問題に関する基本的技術を理解し、SDGsに対応した考え方を学び、実務への対応力を身に付けて頂くことを目的とします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

■　10月22日(木)、27日(火)、29日(木)　（Microsoft Teams を使用）
■　コーディネーター　(公社)日本鋳造工学会　佐藤 和則　氏

10月22日(木)　オンライン研修講座

生型造型法概論	(株)ツチヨシ産業	黒川　豊　氏
模型設計	(株)ＩＪＴＴ	古里憲明　氏
鋳物工場の環境問題	新東工業(株)	岡安功史　氏

10月27日(火)　オンライン研修講座

生型造型ラインとその設備	橋本技術士事務所豊橋	橋本邦弘　氏
特殊鋳型概論	神戸理化学工業(株)	藤原拓也　氏

10月29日(木)午後　工場見学（株）マツバラ

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/3286/202606301344427926.pdf

■センターの技術研修のスケジュールは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/27/

【問合せ先】　一般財団法人 素形材センター 企画部　e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

∞∞

Ａ-3. 素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内

　鋳物を作るためには、鋳物の形状をした空洞とそこへ金属溶湯を流し込むための湯道が物理的に必要である。この湯道の形状は、鋳造品の大きさや材質、溶湯中のスラグ巻き込み、湯回り不良、ガス発生、砂型の膨張など、多くの要因を考慮する必要があります。そこで、湯口方案等を設計するための基本原理と設計手順を学んで頂き、鋳鉄の中・小物を対象とした事例、大物鋳物を対象とした事例を解説します。また、コンピューターシミュレーションの概要を解説し、活用事例などを学んで頂きます。更に、特殊鋳造法の特徴と鋳造方案について学んで頂き、基本的技術を理解し実務への対応力を身に付けて頂くことを目的とします。多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

■　11月12日(木)、19日(木)、26日(木)、12月4日(金)　（Microsoft　Teams を使用）
■　コーディネーター　(公社)日本鋳造工学会　佐藤 和則　氏

11月12日(木)　　オンライン研修講座
鋳造方案の基礎　　　　　　　　　(株)IJTT　古里　憲明　氏
ねずみ鋳鉄の中･小物鋳造方案　　　(株)IJTT　古里　憲明　氏

11月19日(木)　　オンライン研修講座
大物鋳物の鋳造方案　　　　　　　Casting Service　菅野利猛　氏
大物鋳物の鋳造欠陥と方案　　　　Casting Service　菅野利猛　氏

11月26日(木)　　オンライン研修講座
コンピュータを利用した鋳造方案　　クオリカ(株)　　木下文昭　氏
球状黒鉛鋳鉄の中･小物鋳造方案　　栗熊技術事務所　　栗熊　勉　氏
特殊鋳造法の特徴と方案　　　　　栗熊技術事務所　　栗熊　勉　氏

12月4日(金)午後　工場見学　㈱クボタ　恩加島事業センター

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/3288/202606301353037039.pdf

■センターの技術研修のスケジュールは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/27/

【問合せ先】　一般財団法人 素形材センター 企画部　e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

∞∞

4. 素形材技術セミナー「鋳鉄品の鋳造欠陥現象の原因追求とその対策」のご案内

　わが国の素形材産業は様々な技術革新が行われており、基盤産業として著しい発展を遂げて参りました。しかしながら、わが国経済は従来とは異なる抜本的な変革を求められており、素形材産業もさらに競争力強化を図ることが重要と考えられます。本セミナーは、鋳造欠陥対策に取り組んでいらっしゃる鋳鉄鋳造現場の皆さんに参考にしていただきたい、次のような項目に関して、経験豊かな講師の先生方からお話を聴ける絶好の機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

【講義項目】
①鋳造欠陥の見方、見分け方
②その欠陥の生い立ち
③製造工程の変化と欠陥との関係　(溶湯化学成分や生砂などの変化)
④鋳造に関する原理原則
⑤工程管理を行うためのデータの見方
⑥鋳造欠陥によって鋳物製品の機能は損なわれてしまうのか
⑦お客様に鋳物を使っていただくために、鋳物製造者が理解しておくべき鋳物の強度、機能、性質と鋳造欠陥との関係等

●日　時　　令和9年3月3日(水) 9:50～17:10　オンラインセミナー
●プログラム　　コーディネーター　元(株)アイメタルテクノロジー　山田　聡　氏

1. 鋳造欠陥現象の概論と材質不良　　　　　　　　　　岩手大学　堀江　皓　氏
2. 鋳造欠陥の強度への影響と検査方法を考える　旭川工業高等専門学校　堀川紀孝　氏

3. SEM/EDSによる鋳造欠陥(主に鋳型が原因となる鋳造欠陥)の分析
(株)ツチヨシ産業　黒川　豊　氏
4. 溶湯に起因する鋳造欠陥とその対策　栗熊技術事務所　栗熊　勉　氏
5. 鋳鉄製造工程管理の重要性　元(株)アイメタルテクノロジー　山田　聡　氏
6. 総合質疑

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/3409/202609281101447211.pdf

■センターの技術研修のスケジュールは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/110/

【問合せ先】　一般財団法人 素形材センター 企画部　e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

※※※

Ｂ. 素形材センター出版物情報【●☆●●】

∞∞∞

Ｂ-1. 月刊誌「素形材」令和８年９月号（Vol.67,No.9）予告　New★

【主な掲載内容】
◆特集　先進的成形技術への利用を目指す金属粉末製造技術とその高度化
◇資源を持つことと、使えることは異なる
　—都市鉱山から考えるレアメタル資源戦略と粉末冶金技術—
◇永久磁石材料のレアアース資源問題への対応と粉末冶金技術の課題
◇難燃性マグネシウム合金粉末の開発とAM技術への展開
◇積層造形向けTi-6Al-4V合金粉末の製造技術について
◇金型用ダイス鋼系3Dプリンタ粉とその適用事例
◇AM用粉末の製造技術と開発事例
◇高成形性・高密度化に向けた球状金属粉末製造の最新動向
◆特別講義
　消失模型鋳造の国内外の現状
◆シリーズ「経験に学ぶ素形材技術」
　流れから見た鋳造技術

他、文献速報、素形材工業生産実績などを掲載

■バックナンバーも含め、下記よりお申込みいただけます。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/

【申込み・問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 業務部
e-mail:gyoumu@sokeizai.or.jp

∞∞∞

Ｂ-2. 月刊誌「素形材」令和９年(2027年)１月号 掲載原稿募集のご案内

◆◇◆掲載は無料です◆◇◆　貴社の素形材技術・製品のＰＲにご活用ください！

月刊誌「素形材」2027年１月号に特集「わが社の素形材新技術/新商品最前線」を
今年度も企画しました。
◇自社で開発(他社、他機関との共同も含む)されたあるいは実用化された素形材技術、
　現場改善または製品について、開発の目的、内容及び成果を紹介してください。
◇「当社ではこんなこともできる」といった自社の技術自慢も対象とさせていただいて
　おりますので、あわせてご検討ください。
■掲載の仕様は１テーマ・１ページ（図表、写真含む）で、１社３テーマまで
　掲載できます。
■応募締切は【10月23日】です。
■また本特集の掲載を経由して、次年度の素形材産業技術賞へのご応募も可能です。
　素形材センターが応募書類の作成をお手伝いします。
【応募方法】
応募方法の詳細・応募用紙等は、下記をご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/detail=1/b_id=482/r_id=200

【お問合せ・原稿提出先】
一般財団法人素形材センター　業務部　E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

※※

Ｃ．素形材業界関連ー募集・トピックスー【●●☆●】

∞∞

Ｃ-1．第275回塑性加工技術セミナー　New★
「金属積層造形プロセスのシミュレーションおよび最適化」

【一般社団法人日本塑性加工学会】

金属3次元積層造形法は、多品種少量生産を可能にすることに加え、従来の加工技術では不可能であった複雑な製品形状を加工することができるため、注目を集めています。しかし、溶融・凝固のプロセスを経るため、製品形状や品質を予測し、プロセスを最適化することが不可欠です。本セミナーでは、積層造形シミュレーション技術や、成形条件最適化手法について講演をいただき、今後の課題について議論します。

◆日　時：2026年11月11日（水）13:15～16:35
◆会　場：大同大学S棟S0203教室
◆定　員：50名（定員になり次第締切ります）
◆締　切：2026年11月2日　17時

■詳細・申込方法：下記URLをご覧下さい。
　https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1581

∞∞

Ｃ-2．オンライン教育講座『構造材料の観察・分析技術（１）：バルク組成分析』　New★

【公益社団法人日本金属学会】

構造材料の性能発現機構を理解するためには、微視的・ナノスケールでの組織および元素分布の精密な評価が不可欠です。本講座では、「EPMAによる微小領域の元素分析」、「TEMによる微細組織観察」、「FIB-SEM/TEM/APTを組み合わせたマルチスケール組織解析」、さらに

「X線・中性子回折および小角散乱法による組織・構造解析」について解説します。各手法の原理と特徴、適用事例を通じて、高度な分析技術の理解と実践的活用力の向上に役立ちます。

本講座では、当日に受講できない方や理解を深めたい受講者の方のために、講義の見逃し配信を行います（講座開催4週間後から1ヶ月間を目安に配信予定）。受講申込み者は追加料金なしに受講できます。

◆日　時：2026年11月12日（木）～13日（金）
◆会　場：オンライン
◆締　切：2026年11月5日

■詳細・申込方法：下記URLをご覧下さい。
https://jimm.jp/event/online/2026/group_003.html

∞∞

C-3. 第105回塑性加工技術フォーラム　New★

「精密プレス加工の最新動向とこれから目指すべき方向性」

【一般社団法人日本塑性加工学会】【諏訪圏工業メッセ2026実行委員会】

社会情勢の変化や工業製品そのものの変革、またグローバルでの競争や様々な金属加工法の進化などにより、金属プレス加工を取り巻く環境は大きく変化している。本フォーラムでは、産学官それぞれの立場から、精密プレス加工の最新動向を踏まえ、付加価値向上への取組みなどの最新事例や、これから目指すべき方向性について発表します。特に民間企業からは、諏訪圏で活躍する女性エンジニア3名による最新の研究事例や量産適用事例の発表を行います。さらに講演会終了後に、講師や参加者同士の情報交換とネットワークづくりのための名刺交換会を行います。また、諏訪圏工業メッセとの併催として、展示の見学なども行えます。

◆日　時：2026年11月13日（金）　13:00～17:35
◆会　場：おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）2階大会議室
◆定　員：75名（定員になり次第締切ります）
◆締　切：2026年11月4日　17時

■詳細・申込方法：下記URLをご覧下さい。
https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1582

∞∞

C-4. 第454回講習会　New★

「モニタリングの基礎講座－加工プロセスのモデル化からデータサイエンスの活用まで」

【公益社団法人精密工学会】

昨今の製造現場では熟練者不足や脱炭素への対応を背景に、設備のデジタル化やAI活用が進んでいます。これに伴って加工状態を「見える化」し、安定生産につなげる加工モニタリングの重要性がますます高まっています。一方、加工モニタリングは、加工現象の理解から計測、データ解析、現場での実装・運用まで幅広い領域に渡るため、その基礎と実践を包括的に学べる機会は限られています。そこで本講習会では、前半で「加工プロセスのモデル化とモニタリングの基礎」および「加工モニタリングへのデータサイエンス活

用の基礎」を解説し、後半では産学官における最新事例を通じて、課題設定や評価の観点、現場展開に向けた工夫を紹介します。皆様の業務や研究開発に役立つ知見を得られる機会として、奮ってご参加ください。

◆日　時：2026 年 11 月 13 日（金）
◆会　場：中央大学 後楽園キャンパス 2 号館 2 階 2215 室および 2221 室／ライブ配信
◆定　員：（対面）60 名，（ライブ配信）100 名
◆締　切：2026 年 11 月 6 日（金）

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-17388/

∞∞

C-5. 2026 年度　日本工業炉協会“いい炉の日”記念講演会のご案内　New★

「エネルギー多様化と資源循環社会における工業炉の進化」

【一般社団法人日本工業炉協会】

日本工業炉協会は、令和 3 年より“11 月 6 日”を工業炉の日「いい炉の日」と制定し、記念行事として、令和 4 年度より工業炉に関する講演会を設定して開催しております。令和 8 年度は、「エネルギー多様化と資源循環社会における工業炉の進化」をテーマに設定して、講演会を開催します。
今年度は、工業炉の脱炭素化や省エネルギー化に関する最新の取り組みに加え、学術研究の最新動向や研究成果についても取り上げます。講演は、基調講演と一般講演の 2 つのセッションで構成し、各分野の専門家の皆様にご講演いただく予定です。また、『工業加熱』誌に掲載された記事をもとにした講演も多数予定しております。
工業炉を取り巻く最新技術や研究成果に触れる貴重な機会となりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております！

◆日　時：2026 年 11 月 16 日（月）
◆会　場：機械振興会館 研修 2 会議室
◆定　員：60 名（定員に達し次第締め切ります）

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jifma.or.jp/topics/6634/

∞∞

C-6. 第 21 回エレクトロヒートシンポジウム〈Web 開催

「GX 時代の産業競争力を支えるエレクトロヒート」

【一般社団法人日本エレクトロヒートセンター】

第 21 回エレクトーロトヒシンポジウムを昨年と同様に WEB にて開催いたします。
WEB 上に特設サイトを設け、基調講演、特別講寅、及びエレクトロヒートに関係する事例発表、技術出展などの映像・コンテンツを掲載します。当シンポジウム開催期間中は、「入場登録」をして頂ければ無料で、どなたでも、いつでも、何度でもご覧いただけます。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

◆開催期間：2026 年 10 月 26 日(月)～11 月 30 日(月)

■詳細については下記 URL をご覧下さい。
https://www.jeh-center.org/21thEHsympo.html

∞∞

Ｃ-7. 令和 8 年度第 1 回技術講演「マグネシウムの航空宇宙分野への応用と展望」

【一般社団法人日本マグネシウム協会】

　軽量性に優れるマグネシウムは、使用量は決して多くはないが、軽量材料への高いニーズがある航空機関連には古くから使用され続けている。ドローンが普及し、宇宙開発が進み、自動車が空を飛ぼうとしてる昨今は、軽量材料のニーズが益々高まってきおり、マグネシウムには追い風と言える状況である。
ここでは、軽量化で航空宇宙分野に大きく貢献していく事が期待されるマグネシウムの同分野における国内外における研究開発、技術開発などの動向や、航空宇宙分野における金属材料の応用に向けた取組みについて、4 件の講演により紹介します。貴重な講演会となりますので、この機会に是非ご参加ください。

◆日　時：2026 年 11 月 5 日(木)13：20～16：45
◆会　場：機械振興会館　B3-1
◆参加費：主催及び協賛会員：12,000 円（税別）
　　　　　一　　　　　般：20,000 円（税別）

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。
http://magnesium.or.jp/events/2026-11-5/

∞∞

Ｃ-8. 第 196 回塑性加工学講座＜Web 開催＞「板材成形の基礎と実践　～基礎編～」

【一般社団法人日本塑性加工学会】

　高品質の板材プレス製品を高能率で生産するためには、板材のプレス成形に関する基礎理論からその適用技術に至るまでの広範囲の知識が必要になります。本講座は板材のプレス成形に関する業務に携わって間もない方や、理論を学び直したい方、塑性加工の研究室で勉強されている大学院生を対象に、板材成形に関する基礎理論と各要素技術を分かりやすく講義します。またテキストは演習問題事例が掲載されていて、講義の後、聴講者が復習できるよう工夫されています。
　なお本講座で基礎を学びたい方、実業務に従事しその適用事例を学びたい方のそれぞれのニーズに対応するため、基礎編，実践編に分け，それぞれ 2 日間の講義をおこないます。実践編は 11 月 26,27 日に開催予定です。

◆日　時：2026 年 10 月 19 日（月）～20 日（火）
◆会　場：Web 開催。最新の情報は学会ホームページでお知らせします。
◆定　員：50 名（定員になり次第締切ります）
◆締　切：2026 年 10 月 9 日　17 時

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。
https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1578

∞∞

Ｃ-9. 2026年度ものづくり中小企業のための支援策勉強会＜パート１＞
【一般財団法人大阪科学技術センター】【独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部】

経済産業省では中小企業の活性化策の一環として、「中小企業の特定ものづくり基盤技術及びサービスの高度化等に関する指針」に基づくGo-Tech事業や、新事業進出・ものづくり商業サービス補助金などの技術開発支援策が実施されています。
独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部でも、新規事業の事業化をはじめとする、中小企業をサポートする支援策に種々取り組んでおります。また、当財団でも関西の中小企業振興に資する事業や、中小企業技術支援の観点でGo-Tech 等の申請支援や事業支援を行っております。
この度、2027年度概算要求案が示される時期に合わせて、これら各種中小企業支援策の紹介と申請時のポイントなどを解説することにより、これらの 施策に関心をもって頂き、自社技術の高度化にチャレンジされるきっかけとして頂くことを目的に、下記の通り勉強会を開催致します。
御多忙の節とは存じますが、万障繰り合わせの上、ご参加賜りますよう ご案内申し上げます。

◆日　時：2026年10月15日（木）　15：00～16：30（受付開始：14：30～）
◆会　場：大阪科学技術センター　8階　大ホール
◆参加費：無料
◆定　員：200名
◆お申込み：
参加申込書に必要事項をご記入の上、ＦＡＸ又はメールにてお申し込み下さい。
参加証は発行いたしませんので、予めご了承下さい。

■詳細・参加申込書は、下記URLをご覧ください。
https://www.ostec.or.jp/news/8561/

【お問い合わせ先】
〒550-0004 大阪市西区靭本町1丁目8番4号
一般財団法人大阪科学技術センター　技術振興部　森山、松本
TEL: 06-6443-5322　FAX:06-6443-5319 ／ E-mail:go-tech-shien@ostec.or.jp

∞∞

Ｃ-10. 2026年度粉末冶金講座のご案内　【一般社団法人粉体粉末冶金協会】

粉体粉末冶金協会では、本年も「粉末冶金講座」を開催します。
本年度は内容を一新し、7月に「粉末冶金入門講座」（終了）、11月に「粉末冶金の科学講座」、翌年1月に「粉末冶金の実用・応用講座」を開講します。
科学講座では、「物理・化学的視点から焼結の原理を深く理解する」をテーマに、全5講義をオンラインで実施いたします。各講義は130分（途中10分の休憩を含む）とし、内容をじっくり学んでいただける構成としております。特に成形および焼結については、入門講座でご講演いただく講師の方々に、基礎的内容に加えて、その背景となる理論や考え方についても詳しく解説していただく予定です。
実用・応用講座では、「実用材料および先端材料の最新動向を深く知る」をテーマに、従来の代表的な粉末冶金材料から最新の研究・技術動向まで幅広く取り上げます。本講座は対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施いたしますので、講師との直接的な交

流や質疑応答を希望される方は、ぜひ会場での受講をご検討ください。
　本講座は、企業における社員教育や大学での学生教育の一環として、また次代を担う粉末冶金技術者・研究者の育成のためにも有益な内容となっております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◆日　時：粉末冶金の科学講座1～5：
　　　　　　2026年11月6日（金）、13日（金）、20日（金）、27日（金）、12月4日（金）
　　　　粉末冶金実用・応用講座　：
　　　　　　2027年1月 22日（金）
◆会　場：科学講座：オンライン（Microsoft Teams ウェビナー）
　　　　実用・応用講座：対面（京都テルサ）ならびに
　　　　　　　　　　　　オンライン（Microsoft Teams ウェビナー）

■詳細、申込方法：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspm.or.jp/event/20260605

※※

D．素形材産業政策関連－トピックス・募集等－【●●●☆】

∞∞∞

D-1．統計　【経産省】New★

○月例経済報告（令和８年９月）
　https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2026/0929getsurei/main.pdf
○経済産業省生産動態統計速報（８月分）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html
○製造工業生産予測指数（９月調査）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/yosoku/result-1.html
○鉱工業生産・出荷・在庫指数速報（８月分）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html
○鉱工業出荷内訳表・総供給表（８月分）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/b2020_result-2.html
○石油統計速報（８月分）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuso/result.html

∞∞∞

D-2．「技術革新と人類社会の未来 中間報告書―価値主導型イノベーション・ガバナンスに向けて―」を公表しました　【経産省】New★

　経済産業省は、若手政策立案プロジェクト『PIVOT』の未来テクノロジーチームが取りまとめた報告書「技術革新と人類社会の未来　中間報告書―価値主導型イノベーション・ガバナンスに向けて―」を公表しました。
本報告書では、AI、ブレインテクノロジー、先端バイオ医療、フュージョンエネルギー等の次世代技術について、今世紀後半を見据えた4つの技術的潮流（メガトレンド）を整理し、それらが社会・経済・地政学に及ぼし得る影響を分析しています。これらの分析を踏まえ、公平・公正、多様性、民主主義、平和等の社会的価値を指針として、研究開発、社会制度設計、市場形成及び国内外のルール形成を一体的に進める「価値主導型イノベーション・ガバナンス」を提言しています。

■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2026/09/20260917004.html

∞∞

D-3. 国内最大級のオープンデータプラットフォームである地域経済分析システム（RESAS）をアップデートしました　【経産省】New★

経済産業省は、多様なユーザーがデータを容易に利活用できる環境を実現するため、地域経済分析システム（RESAS：リーサス）の使いやすさを向上させつつ、アップデートしました。

■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2026/09/20260929002.html

****

■「メルマガ素形材」は、基本、毎月２回程度で発行致します。
　次回をお楽しみに！
■「素形材業界関連―募集・トピックス等」に掲載ご希望の方は、
「１.件名　２.主催者名　３.概要　４.HP リンク先」
　を記載の上、mail@sokeizai.or.jp までお送り下さい。
■登録内容の変更、配信停止希望はこちら(メルマガの申込 / 配信停止ページ)からご連絡下さい。
　https://www.sokeizai.or.jp/pages/114/
■お問合わせ、ご意見、ご感想、また掲載内容のご要望はこちらからご連絡下さい。
　gyoumu@sokeizai.or.jp
■メルマガ 素形材は、今回で第４６９号となります。メルマガ素形材は“利用しやすい素形材情報”を目指して発信しています。より多くの方にご覧いただくことで内容の充実を図りたいと思っています。
読者の皆様のご意見、ご感想はもちろんのこと、ご関係の方々を当センター事務局にご紹介・ご連絡下さい。

****

■発行元：〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館１階 102-2 号室
一般財団法人 素形材センター
TEL：03-3434-3907　FAX：03-3434-3698　http://sokeizai.or.jp/

****

※ドメイン変更による不着メールが多くなっております。ご所属機関のドメインが変わられた際には必ずお知らせくださいますようお願い致します。